

# 奥松島縄文村再生プロジェクト

## --蕎麦で里浜の再生を--

あの大地震からはや5ヶ月が経ちました。里浜貝塚は今、夏草に覆われ、ミンミンゼミの蝉時雨のなかで、なに事も無かったかのようにおだやかです。しかし、3月11日の爪痕は、この5ヶ月という時間を経てもなお、深く、深く刻まれています。

里浜貝塚遺跡があります宮戸（みやと）島では太平洋に面した大浜、月浜、室浜の3つの集落は壊滅してしまいました。里浜も地震そのもので大きな被害を受けていますが、津波被害は内湾に面していたことから比較的軽く済みました。宮戸の人達は先人の教えを良く守り、地震の後いち早く宮戸小学校など高台に避難し、遭難者を一人も出すことがなかったとのことです。縄文人が里浜の地を選んで生活したというのも地震・津波とは無関係ではなかったのでしょう。

さて、東松島市奥松島縄文村歴史資料館では、例年、里浜貝塚ファンクラブを通して春の牡蠣養殖体験、潮干狩りから貝染め、土器作り、塩作り、縄文の釣り、縄文講座、蕎打ち体験など、年間を通して様々なイベントを行い、皆様に縄文を発信すると共に、一緒に縄文を楽しみ、体験するイベントを重ねて参りました。

しかし、この震災で、今なお行方不明者が200人を超え、甚大な被害を受けた奥松島市では市民の生活の支援と復旧・復興に手一杯で、とても縄文の文化に触れるような活動を行うゆとりはなく、縄文村歴史資料館の表向きの活動はすべて中止となりました。資料館では文化財レスキュー事業として少しずつ展示品の清掃などを進めてはいますが、未だ再開の目処は立っていません。その一方で、全国の皆さんからは何とか奥松島の、宮戸島の、そして里浜の手助けが出来ないものか、との熱い声も数多く寄せられています。

蕎麦は例年ですと東松島市の予算で（社）東松島市シルバー人材センターに委託して夏に種をまき、秋に収穫してもらい、それを使って蕎打ち体験教室を行ったりしてきました。しかし、市には例年の予算をここに回すゆとりは全くありませんで、今年は昨年秋に植えた菜種の収穫は行ったものの、その後史跡公園の畑は夏草の生い茂るがままとなっています。

そうした中で、奥松島の、里浜の再生につながるイベントを地元、縄文村資料館と手を携えて行えないかと言うことで、このたび、「蕎麦で里浜の再生を」プロジェクトを行うこととしました。

このプロジェクトでは例年市からの予算でまかなってきた経費をすべて皆様からの浄財でまかないたいと思います。種まき前の畑起こしから始まって収穫、蕎麦の粉躰きまでの全部の経費を50万円と見積もりまして、この50万円を目標に皆様からのご寄付を是非とも御願い申し上げます。また、種まき祭、収穫祭などのイベントにもふるってご参加下さいますよう、重ねてご案内申し上げます。

2011年8月15日

奥松島縄文村再生プロジェクト実行委員会

代表 岡村道雄

### 【プロジェクトのあらましとイベント予定】

東松島市のシルバーの方々もこのところようやくがれきの撤去や家の片付けなど以外の事をする時間が少し持てるようになってきたそうですので、例年通り、蕎麦の作付けから収穫までの作業を（社）東松島市シルバー人材センターに委託して行っていただきます。

**作付け場所**：里浜貝塚史跡公園内の畑および台囲地区にある里浜のシンボルのタブノキの周囲（種まき、収穫イベント用の畑）

- ・平成23年8月下旬～9月上旬 畑起こしと種まき

【イベント1】蕎麦種まき祭り 平成23年9月4日（日） 詳細は別項

- ・畑の草取り、蕎麦の育成

（この間に蕎麦の花の見頃をご案内します。自由に現地においで下さい）

- ・10月下旬～11月中旬 蕎麦の収穫と乾燥、使った畑の整理

【イベント2】蕎麦収穫祭 平成23年11月20日（日） 9月にみんなで蒔いた蕎麦の刈り取り（収穫した蕎麦の実あるいは既に粉に轆いたもの=新蕎麦粉=をご寄付いただいた参加者の皆さんにおわけできるようにしたいと考えています）

【イベント3（企画立案中）】里浜蕎麦を味わう会 平成24年1月頃 蕎打ち体験教室や縄文土器で蕎麦がきを味わう

### 【寄付金のご送金】

奥松島縄文村再生プロジェクト—蕎麦で里浜の再生を—のための寄付金を募ります。1口1,000円、お一人さま何口でも結構ですが、出来れば5口以上、是非とも御願い申しあげます。この寄付金は種まき前の畑起こしから始まって、タネ代、草取り、収穫、その後の畑の整理、蕎麦の粉轆きまでの経費とこれらの事業を皆様にお知らせし、また報告するための通信費などにすべて当てられます。下記郵便振替口座にご送金下さい。

送金先：郵便振替口座

口座番号 02210-9-49582

口座名 里浜貝塚ファンクラブ

- ・申し訳ありませんが振り込み手数料は皆様でご負担下さい
- ・送金に当たりましては通信欄に必ず「里浜再生」とご記入下さい（里浜貝塚ファンクラブの会費納入と区別するためです）
- ・複数の方の寄付金をまとめて送金される場合は通信欄にそれぞれの方のお名前、連絡先（住所、メールアドレスなど）と口数をご記入下さい。
- ・送金期限：特にありませんがプロジェクトがスムーズに進行するためには早い時期のご寄付をぜひ御願ひします。

【寄付金に関する問い合わせ、連絡先】

〒980-0862 仙台市青葉区川内12-2 東北大学植物園内

奥松島縄文村再生プロジェクト実行委員会事務局（あるいは 鈴木三男 宛）

電話&FAX 022-795-6788

E-mail: mitsuos@m.tohoku.ac.jp

（電話は不在の時のが多いので余りつながりません。出来る限りE-mailをご利用下さい）

## 第1回イベント〔蕎麦種まき祭り〕のご案内

平成23年9月4日（日）10時～12時

集合場所：奥松島縄文村資料館駐車場

イベント会場：里浜貝塚遺跡史跡公園台囲地区（史跡公園の丘の上）

参加費：無料

準備のため、参加希望の方は事前に下記に郵便、FAXまたはE-mailで、参加者のお名前、年齢、連絡先（住所、電話、E-mailアドレスなど）を書いて申し込んで下さい

【参加申込先】

〒981-0412 宮城県東松島市宮戸字里81-18

奥松島縄文村歴史資料館内

里浜貝塚ファンクラブ事務局

電話 0225 (88) 3927 (問い合わせのみ対応)

FAX 0225 (88) 3928

E-mail: [jomon@city.higashimatsushima.miyagi.jp](mailto:jomon@city.higashimatsushima.miyagi.jp)

(ご参加いただくにあたって)

- ・ お弁当、飲み物、水はご持参下さい。作業のあと、台囲いの東屋から松島湾を眺めながらお弁当にしましょう。史跡公園のトイレは使えるようになる予定です。手洗いなどのための水は出来るだけ持参ください。
- ・ 作業に適した服装(汚れても良い服、長靴、帽子、軍手など)をご用意下さい。熱中症対策も御願います。
- ・ 復興途中の現地(縄文村歴史資料館を含む)の妨げにならないようにご留意下さい。現地には一切世話をかけないことを原則として下さい。ゴミはすべて持ち帰っていただきます。
- ・ 松島海岸と矢本の間は仙石線は通っていません。野蒜駅へはJRによる代行バスがありますが、野蒜駅から里浜への公共交通はありません。
- ・ 野蒜海岸から里浜への道路は仮設のため通行には十分注意して下さい。また、災害復旧用車輛、地元車両優先で御願います。
- ・ 三陸道の「鳴瀬奥松島」を出てから先にはお店は一軒もないと思ってください。もちろん自動販売機もありません(里浜のお酒屋さんが開いているかも知れません)

本プロジェクトに関する御意見、ご希望等を承っています。  
プロジェクト事務局までお寄せ下さい。

#### 奥松島縄文村再生プロジェクト実行委員会

代表 岡村道雄(奥松島縄文村歴史資料館 名誉館長)

委員 佐藤隆志(里浜貝塚ファンクラブ 縄文村村長)

委員 中山千夏(作家)

委員 白井貴子(シンガーソングライター)

委員 永 六輔(作家)

委員 荻谷俊介(俳優)

委員 佐古和枝(関西外国語大学 教授)

委員 鈴木三男(東北大学植物園 教授)

里浜貝塚ファンクラブ

実行委員会事務局

〒980-0862 仙台市青葉区川内 12-2

東北大学植物園 鈴木三男

電話&FAX 022-795-6788

E-mail: [mitsuos@m.tohoku.ac.jp](mailto:mitsuos@m.tohoku.ac.jp)

(電話は不在の時の多いので余りつながりません。出来る限り E-mail をご利用下さい)